

# 国語

## [解答]

—

- 1 ア 2 B 3 ウ  
4 これほど楽に夢中になるのは尊いことだ (18字)

## [解説]

—

- 1 「あはれ」は現代語とは意味が変わっていることに注意する。古語では、「しみじみとした趣がある」ということを表す。
- 2 Bは「時光」の動作。これ以外は、「御使ひ」が主語になっている。
- 3 「ぬ」は打ち消しの助動詞「ず」の連体形であり、「え…ず」で「……できない」という意味を表す。よって、「え聞かぬ」は「聞くことができない」という意味になる。
- 4 「御使ひ」が予想していた帝の反応と、実際の帝の様子とが違っていたことを捉える。「御使ひ」は、帝の命令に逆らい、楽を続けた時光は、きっとおとがめを受けるだろうと考えた。ところが帝は、彼らを「いとやむごとなけれ」と好意的に捉えたのである。「やむごとなし」が「非常にすばらしい」といった意味を表すことにも注意して、答えをまとめるとよい。

